



あそぶ・まなぶ・語る



周防大島町社会教育施設連携協議会 〒742-2512 山口県大島郡周防大島町平野 417-11 宮本常一記念館内 TEL (0820) 78-2514

が別途必要

※参加費は同じ。入会金1500円

kg 2000円)

■入門講座(初心者向け)

陶芸の基本技術を習得する講座。本

格講座の4つのコースのいずれかに

連続3ヶ月参加していただきます。



【参加費】受講料:1500円(年間一括払い
15000円)、材料(粘土代:1

■本格講座

《陶芸教室の生徒を随時募集しています》
毎月第1、3の水・木・土曜日に開講。初心者の方
には基本技術が学べる入門講座もあります。



が反映された作品がならび、
会場は色彩豊かに華やいでい
ました。また体験コーナーで
は、講師の指導の下、鯉のぼ
りの絵付け体験を行いました
た。来場された方は作品を前
にして制作の工夫などについ
て会話が弾んでいました。

うちは、こんなこと
をやっています

平成28年度 陶芸作品展を開催



生涯学習の
場を

3月24日(金)から26日(日)の三日間、本施

設陶芸教室の先生と生徒による陶芸作品展を開催
しました。この陶芸教室は萩焼久杉窯の近藤守さ

ん・美都代さんの二人を講師に、当施設内の「陶

芸の館」で定期的に開催している講座です。会期
中はお皿や灯り取り、湯呑みなど、作り手の個性

服部屋敷の雛祭り

地域交流員の
グループを中心に企画



宮本常一記念館

道の駅隣の服部屋敷(農村交流伝承館)で、

3月2日~5日の四日間にわたり雛人形を飾つ
て、喫茶のおもてなしをする「服部屋敷の雛祭

り」を開催しました。これは本館の地域交流員

に登録している大島デイスカバリーのみなさん
が中心になって企画したイベントで、晴天にも

恵まれて、会期中には約

150人の方が来場され

ました。古民家に華やか

に飾り立てられた雛人形

を前にして、来場者は記

念写真を撮ったり、用意

された豆茶と雛アラレを

楽しんだりしながら、午



後のひと時を過ごされてい

ました。また服部家

の子孫である鳴海麻里さん

も来場され、同屋敷

をより気持ちよく皆さんに

利用してもらいたい

と寄付金もいただきました。

ご厚意に感謝して、

今年度は経年劣化したナマコ壁の補修など行

予定です。

HA G L a n d



日移 本民 八 料 館

当資料館の移民検索システムを利用される方
から、お便りをいただきましたので紹介します。

この便りをご覧の皆さん、こんにちは。日本ハ

ワイ移民資料館をよく利用させていただいている
者として改めてこの資料館の検索システムについ

てご紹介したいと思います。

実は私は50歳を過ぎてから
大学に入り、地理学を専攻

しながらハワイの日本人移

民の研究を始めました。そ

してコナコヒーの産地と

して名高いハワイ島コナ地

域にある日本人墓地の全て

を調査し、記録した人数は

ハワイで生まれた2世など

を含め約2700人にもなりました。それらの日本人

移民がいつハワイに行ったのかを調べるため「官約移

民検索システム」という貴重なシステムを利用しに何

度も鎌倉から足を運びました。「官約移民検索システ

ム」は、明治18(1885)年から明治27年の約10年

間に日本からハワイへと契約労働者として送り出した

約3万人の「官約移民」を、名前、出身地、回船(移

民船の回数。合計26回に及んだ)などから検索できる

システムで、鎌倉からの費用、時間を考慮しても周防

大島に来る価値がある検索システムなのです。それに

加え昨年の夏には「移民取扱人ヲ經由セル海外渡航移

民名簿書籍一覧」が導入され、「官約移民」以後の移

民会社による「私約移民」の約11万人の検索もできる

ようになりました。これらは全国で唯一のもので、こ

の貴重なシステムを研究者の方だけではなく、移民と

関わりのある一般の方にも利用していただいて、その

方自身の「ファミリーストーリー」を紐解いていただ

けたらと思います。

(平川亨/明治大学・院)

平川さんは、「調査結果について要望があれば個々
にお応えしますよ、お役に立ちたい」と、情報を提供
してくださるそうです。ハワイ島コナ地域の日本人
墓地に関して、聞いてみたいという方は、本資料館へ
ご一報ください。新たな発見が叶うかもしれません。



【写真=ホルアルア日本人墓地(ハワイ島コナ)】

イベントひろば

周防大島町陸上競技場・総合体育館

▼「いきいき健康ウォーキング」に参加してみませんか？

当施設では健康づくりのために第四木曜日をウォーキングの日に設定しています。1時間半のウォーキングを自分のペースでやってみませんか。講師がノルディックウォーキングの指導もおこなっており、気軽にできる体操をお教えしますので、ぜひご参加ください。



【日時】毎月第四木曜日（七・八月は休み）
① 4月27日／② 5月25日／③ 6月22日
※いずれも10時～11時30分

【場所】周防大島町陸上競技場※雨天時は総合体育館アリーナ（室内履きを持参）

【参加費】無料（予約不要で、どなたでもご参加できます）

【携行品】タオル・飲み物・帽子等。その他、歩きやすい服装でご参加ください。

【問い合わせ】0820・78・2512

八幡生涯学習のむら

▼「ストラップ作り」コーナーを開設

アイロンプリントを用いた自由なストラップを作成する講座を2月4日に開催し、専用の用紙への印刷とオープントースターを使っ



て、参加者が思い思いの写真やイラストを使ったストラップを作りました。この時の作業スペースを館内に常設いたしましたので、いつでも体験できます。今後はストラップやエコバッグ、Tシャツを作成する講座も予定しています。

▼歴史文化講演録を刊行

平成27、28年度の講演録を刊行しました。辻岡健志さん（宮内庁書陵部）の「大洲鉄然」についての講演、吉田真夫さん（山口県文書館）による「大坂の陣」に関する講演、そして隅田正三さん（西中国山地民具を守る会会長）の「鍛冶屋道具を中心とした民具」についての講演の三本を収録しています。町内の図書館に配布しておりますので、ぜひ手にとってご覧ください。また当施設でも販売しておりますのでお問い合わせください。

【問い合わせ】0820・72・2601

▼今年も開催、ミニマルシェ

4月～12月までの第1、3土曜日に朝市を開催しています。有機栽培で育てた野菜やお土産品などを販売。また「せとうちつなぐキッチン」をはじめ朝ご飯のブースもあります。その他、みんなの学び場として「島の寺子屋」などのワークショップも随時開催していく予定です。

【開催日】毎月第1、3土曜日9時～12時

【会場】八幡生涯学習のむら

【問い合わせ】実行委員会（内田）

080・6539・7741

宮本常一記念館

▼宮本常一記念館地域交流員を募集

本館の地域交流員は、①暮らしに関する資料の保存・活用、②自然体験や昔の道具を使った学習の推進、③青少年等の交流の促進などに関心を持っていたら、有る方の方で、養成講座を受講していただければ登録ができますので、ぜひお気軽にお問い合わせください。

【日時】4月29日（土）14時～16時

【会場】宮本常一記念館

【内容】①「宮本常一記念館のめざすもの」——地域交流員の役割、②展示室など施設見学

【定員】20名（参加費無料／先着順）

【申し込み・問い合わせ】

0820・78・2514



伝統の技を知る
表具講座を開講



毎年開催している本講座。今回も表具工

指導員・一級技能士である金本豊氏を講師

に2月26日（日）から3月19日（日）にかけて開催しました。一つの掛軸を作りながら、表装に関する知識と技能、また和紙の

使い方など学びました。この講座を通じて、糊や和紙の特徴を活かした

表具技術の奥深さをたくさんの方に実感していただき

ました。来年度も同様の講座を開催する予定です

で、関心のある方はお気軽にお問い合わせください。



暮らしのモノ語り

センタクイタ

（洗濯板）

長方形の板に凹凸をつけて、衣服の汚れを落とす工夫を施した板。時代劇などでもしばしば登場するので昔からあった道具のように思われがちだが、実際に日本へ伝わり普及したのは明治になってからで、その歴史は意外と新しい。これが伝わる以前の洗濯は手でもんだり、石の上で踏んだりしていた。タライに水をはって、板をタライの縁にあてて斜めにすえ、石けんをつけて衣服をこするようにして洗った。水道が各家庭に設置される前には、井戸水を汲んだり、川の水を利用したりして洗濯をした。水汲みや冷たい水での洗濯は、女性たちにとって重労働であつたようだが、そういった水のある場所には自然と人が集まった。噂話に花が咲く「井戸端会議」もセンタクイタとタライのある風景がよく似合う。

（宮本常一記念館）



※周防大島町内は昔の暮らしを今に伝える民具がたくさんあります。このコーナーでは、各施設が所蔵するモノを紹介して、暮らしの知恵を知っていただければと思います。